

北原小学校校舎等整備基本設計(案)の説明会の実施結果

1 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
10月31日(金) 18時30分から20時まで	野方区民活動センター	2人
11月1日(土) 15時から16時30分まで	野方区民活動センター	6人

2 説明会で寄せられた主な質問・意見

	主な質問・意見	区の考え方
1	普通教室が将来不足することはないのか。	北原小学校は現在、1学年2学級であるが、新校舎供用開始後も同程度の学級数を見込んでいる。 なお、新校舎では学級数の増加にも対応できるよう、予備教室として利用可能な教室を4教室確保している。
2	プールを屋上に配置した理由を教えてほしい。	プールを現校舎のように地上に設置すると、校庭が狭くなってしまうほか、視線対策としても十分ではないため、校舎屋上に配置したものである。
3	新校舎の配置について、昨今の温暖化の気候状況も踏まえ、南側配置も検討されたのか。	基本計画時に、南側に配置することも検討したが、校庭が正形となり、敷地をより有効に活用できる現在の配置案となった。高断熱の窓を設置するなど、校舎への日射対策を実施のうえ、良好な学習環境を整備していく。
4	新校舎の高さが10mまでとのことだが、現校舎の高さはどの程度なのか。	現校舎は、屋内運動場棟が12m程度、北側も10m超えているため、新校舎は現校舎より低くなる。

5	校庭や屋内運動場の広さは現校舎と比べ変わるか。校庭は天然芝が良いと思っていたが、土舗装とした経緯を教えてほしい。	校庭はほぼ同じ広さで、屋内運動場は少し大きくなる。校庭舗装については、天然芝は養生期間が必要となるなか、土舗装であれば、養生期間はなく、今まで北原小学校で実施してきた地域活動や行事も引き続き実施できることから、学校や地域住民とも協議のうえ、土舗装とすることが決まったものである。
6	新校舎における産業廃棄物の搬出入はどここの門から行われるのか。	産業廃棄物の搬出入は西門から行う。
7	災害対応のために設置する設備等を教えてほしい。	防災機能として、屋内運動場が災害時の避難場所となるように想定している。また、地下1階に備蓄倉庫を配置しているほか、敷地北側にマンホールトイレ、校庭に防災倉庫を設置している。その他、プールの水は、消防水利として活用する予定である。
8	代替校舎である明和中学校跡施設に通う際の安全対策と防犯対策について検討いただきたい。	通学の安全対策として、警察や学校等とも確認した通学路を設定していくとともに安全指導員を配置するなど対応を検討していく。
9	現校舎の桜の木を今年度伐採した理由を教えてほしい。	令和6年度に樹木診断を行ったところ、枯損が進み倒木の危険がある診断であったため、学校と相談のうえ伐採したものである。
10	新校舎では桜が植樹されるのか。	桜は北原小学校の校章にもあり、大切な樹種であるため、新校舎に新植する予定である。
11	西門から西武鉄道の踏切に向かって行く道路は緊急車両の動線ともなっているため、工事期間中の通行止めはやめてほしい。	原則として、日中の通行止めは行わない。工事車両の動線については、警察とも相談したうえで、工事説明会にて詳細を説明する。
12	建設費はいくらなのか。建設費の高騰により、学校建設が中止となることはあるのか。	設計内容を踏まえた具体的な建設費は今後算出していく。建設費の高騰により、北原小学校の新校舎整備が中止となることは想定していない。